

令和6年3月1日

保護者様

横浜市立西富岡小学校  
校長 黒田 由希子

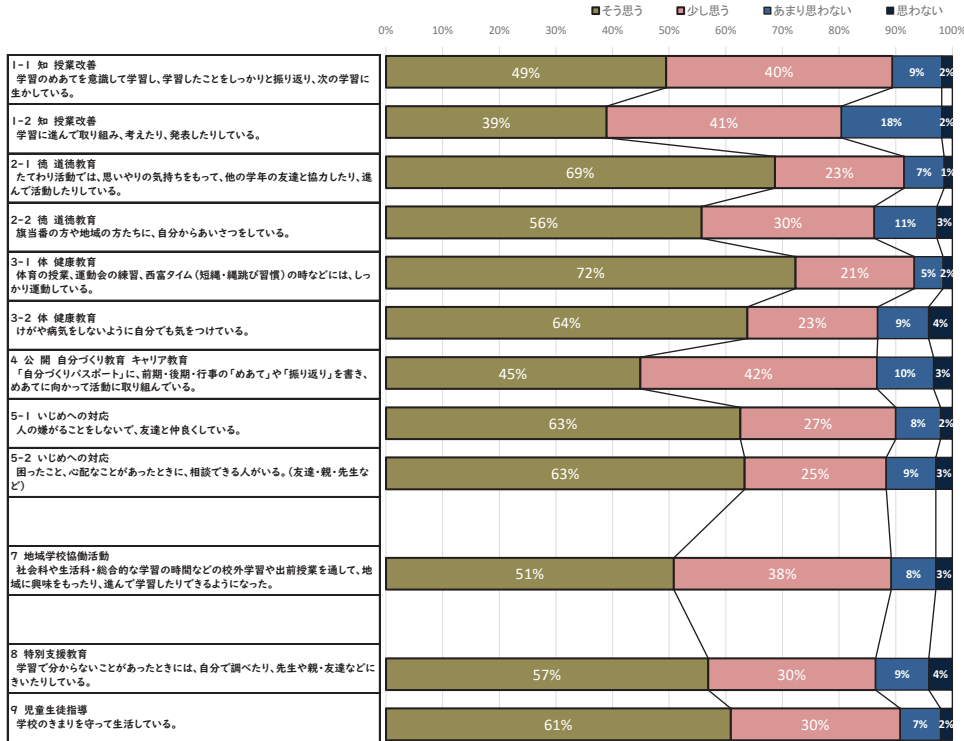
「学校教育についての振り返りシート」の集約について

向春の候、皆様にはますますご清祥のことと、お喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。

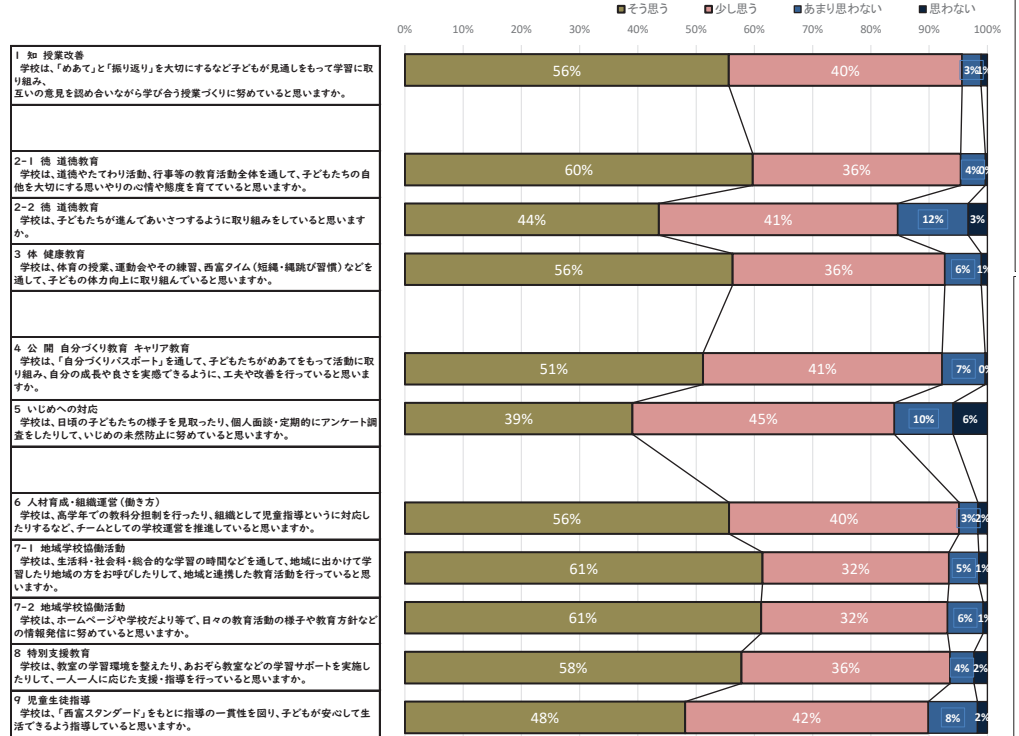
西富岡小学校では、学校教育目標「自進力！西富～実感・共感・主体性～」の実現に向け、中期学校経営方針の重点取組分野である「生きてはたらく知」「豊かな心」「健やかな体」「地域連携」等の観点で、様々な教育活動に取り組んでいます。

さて、先日ご協力いただきました振り返りシートの結果を集約いたしましたので、お知らせいたします。今回の振り返りシートの結果を今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。今後とも、共に西富岡小学校の教育を創っていくという視点で、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

<児童>生活・学習 振り返りシート集約結果



<保護者>学校教育についての振り返りシート集計結果



【考察】  
今年度も学校教育目標の「自進力」を意識した展開を心掛け、自ら課題を見つけ、自ら考えることのできる児童を育成するために、主体的に学習に取り組むことができる授業づくりを目指しました。しかしながら、今年度の児童の振り返りシートからも分かる通り、自ら進んで学習に取り組んでいるという意識は決して高くありません。児童が自ら問題を発見して解決していこうとする問題解決学習を目指し、今後も授業改善を進めてまいります。また児童の疑問や質問からめあてに迫っていけるような授業づくりや、意見の共有がしやすくなるためのツールを活用(タブレット端末等)するなど、学習の環境づくりにも努めてまいります。

## 2 徳 道徳教育に関して

保護者の方のご意見（記述欄からの抜粋） ▲は課題として捉えているご意見です。  
○朝の見守り当番時も以前に比べると挨拶してくれる児童が増えたように思います。(自分から挨拶してくれる子、こちらから声掛けすると挨拶してくれる子と様々ですが)  
○感染症の心配がある中で、課外活動などたくさんのお機会を与えて下さりありがとうございました。  
○コロナ禍から比べると今年は学年行事があって音楽会、工場見学など子どもたちも楽しめたと思います。  
○他クラスや他学年との交流があるのがとても良いと思いました。  
▲旗当番をしていて、挨拶をしても返してくれる子は数人しかいないので、とても寂しく感じます。  
▲旗当番時には児童に声掛けしていますが、相変わらずあまり返ってきません…。

### 【考察】

本年度途中から新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、本校の特色である「たてわり活動」では、子どもたちの学年を超えた交流を通して、豊かな心が育まれました。また3年生の区音楽会、4年生の心の教育パレエの世界、5年生の心の教育ふれあいコンサート、6年生のこころの劇場観劇など、本物に触れ豊かな情操を養う活動に参加することができました。

あいさつについては、昨年度の「学校教育についての振り返りシート」でも厳しいご意見をいただいていたところです。今年度は対面での朝会も再開し、週の始めは全校児童でしっかりあいさつをしてスタートすることや、授業の始めと終わりのあいさつを意識する取組を通して、子どもたち一人ひとりの意識が変わってきたところではありますが、まだ自分から進んであいさつをすることができる子どもが少ないという現状があります。来年度も一人ひとりの意識を高めることができるような取組を広げていきたいと思ひます。ご家庭でも、あいさつをすることの良さについて話し、考える機会を設けていただけると幸いです。

## 3 体 健康教育

保護者の方のご意見（記述欄からの抜粋） ▲は課題として捉えているご意見です。  
○運動会では、児童と先生方が一丸となって取り組んでいる様子を拝見して、胸があつくなりました。笑顔と元気いっぱいの声援、日頃の登下校時の挨拶にも活かせたらいいなと思ひました。  
○担任の先生から、お休みした日などにご連絡をいただき、その際、子どもの普段の様子等をお知らせ下さり大変感謝しております。  
▲縄跳び習慣はもっと頻繁にやってもいいと思ひます。ただ、休み時間にやると自由時間が少なくなったと感じる子もいるようなので、朝の時間などは活用できないのでしょうか。  
▲体力向上のため、朝の時間にマラソンを実施したり、マラソン大会を復活してほしいです。

### 【考察】

昨年度より「体力一校一実践運動」の取組みとして「縄跳び習慣」を行っています。この活動を通して、普段外遊びをしない子どもたちも一生懸命取り組んでいました。朝の時間の活用については、来年度より登校時間が8時10分から20分に変更されることもあり、なかなか難しいところもありますが、子どもたちの体力の向上については来年度も工夫を重ね、運動や健康への前向きな気持ちを育てていきたいと思ひます。

## 5 いじめへの対応に関して

保護者の方のご意見（記述欄からの抜粋） ▲は課題として捉えているご意見です。  
○心配なことがあったときに、担任の先生に相談しやすく、さらにすぐに対応して下さったことで、安心して送り出すことができました。  
○一年生ですが、学校に馴染めるように丁寧なご指導ご配慮をいただき感謝しています。  
○一年生は、今までの教育方法ではない取り組みをしているのをとても感じます。感謝しています。先生や子供達を楽しみ取り組めるよう保護者も協力していきたいです。  
○日々のご指導に感謝しています。子どもが、クラスや先生を大好きになったことが、嬉しいです。

### 【考察】

今年度は昨年度のアンケートに加え、記名式のアンケートと無記名のアンケートを行い、子どもたちの心に寄り添う取り組みを行った結果、子どもたちの不安の声を拾いやすくなりました。そしてそれを全職員で共有し、解決につなげていくことができました。また、人権週間には、人権擁護委員の方をお招きして、友達など自分の身の回りの人との関係について振り返ったり、富岡中学校ブロックの横浜子ども会議では、「いじめをなくすために、一人ひとりができること」を学校代表児童が話し合ったりしています。その他にも、児童の社会的スキルを高めるための「横浜プログラム」にも、日常的に取り組んでいます。来年度も今年度同様に、子どもたちの困っていることや不安に思っていることに寄り添い、解決に向けて対応していきたいと思ひます。

一年生は、幼保小の連携を意識した「スタートカリキュラム」に取り組んでいます。幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、自分らしさを発揮し、新しい学校生活を創り出していけるような取組をおこなっています。今後も「スタートカリキュラム」を通して、学校で安心して過ごし、自信をもって学習に取り組み、自立の土台を育てていけるようにしていきます。

## その他

保護者の方のご意見（記述欄からの抜粋） ▲は課題として捉えているご意見です。

○学期始まりはすごく不安なことが多々ありましたが、個人面談で学校の様子が細かく聞けて学校のことが分かった1年だったと思います。  
○懇談会や面談などを通して先生方が熱心に取り組んでくださっていると感じます。  
○家庭でのタブレット学習が新鮮でした。書く作業がない分、どんどん進められて、嬉しい気持ちにつながっていました。  
○宿題のプリントの算数の答えを載せてくださり丸つけの際、とても助かっています。  
○忘れ物など小さなことでも、学校へ連絡したことがすぐに他の先生に共有されており、先生方の連携が取れていてありがたいと思ひました。  
○楽しい小学生生活を送ることが出来ました。感染症の心配がある中で、課外活動などたくさんのお機会を与えて下さりありがとうございました。  
○授業参観で子どもたちの授業風景を見る機会が増えたのはよかったです。

▲毎週月曜日と火曜日にタブレットでの宿題が出されていますが、自動採点の上に、1人でサッサと進めてしまうため、その単元を本人がどこまで理解しているのか把握しづらいです。また、30分という時間による区切りだと日によってこなしている量にかなりの差があったり、自分の得意なところしかやらなかったりや偏りが出がちなのが気になります。

▲ipadの使用について。家で宿題をやっている様子を見ると、イライラしたり、適当に書いたりする姿が見られます。紙での宿題の方が、落ち着いて取り組んでいる印象があります。学校でipadを使うようになり、子どもたちの学習にどのような変化が見られたのか気になります。

▲個人面談が後期にないのはなぜでしょうか。後から相談したい事が出てくることもあるので、ぜひ後期でも実施して頂きたいです。

### 【考察】

昨年度の「学校教育の振り返りシート」でのご意見を受けて改善したことや、今年度より始まりましたタブレット端末の持ち帰りについて、評価していただける声が多くありました。いただいたご意見をもとに、来年度の学校運営に生かしていきたいと思ひます。

宿題について多くのご意見をいただきました。タブレット端末での宿題については、児童一人ひとりの進捗状況を教師が確認できる良さがあります。また、児童の苦手なところが把握しやすくなる利点もあります。デジタルドリルで行う漢字学習については、書き順やはね・はらいなどを自分で確認しながら練習できる良さもあります。しかし、指やタッチペンでは漢字の字形がとりにくく、紙や鉛筆を使った練習も大切だと捉えています。今後も児童一人ひとりに応じた支援や学習サポートを行っていきます。

タブレット端末を授業で使用することで、児童はさまざまなシンキングツールを使用しての学習を通して、思考の幅を広げることができるようになったり、友達と意見を共有して自分の考えをより深めたりすることができるようになりました。今後もより良い問題解決学習のためのツールとして、活用していきたいと思ひます。

後期の個人面談についてですが、面談期間としては特設してはみませんが、お子さんのことをご相談がございましたら担任、児童支援専任、スクールカウンセラーなどに常時相談できる体制が整っております。お気軽にご連絡いただければと思ひます。